

今年にはエドヴァルド・ムンク(1863-1944)の没後80年にあたります。

ムンクといえば、やっぱり《叫び》でしょう。大きく目を見開いた人物が、両頬を両手で押さえ、口を開けて叫んでいるという絵です。私が初めて《叫び》を知ったのは、中学生の頃に刊行された『五木寛之作品集』(文藝春秋)の装丁に使われていたことによります。ただ、その頃は「薄気味の悪い絵だ」と嫌悪に近い印象を抱き、五木寛之の小説ほど熱中することはありませんでした。

私がムンクを再発見するのはそれからおよそ20年ほど後です。観る人に得体の知れない不安感を与え、それでいて心の奥に深く印象づけられないではおかないムンクの作品に、いつしか私は引き寄せられていきました。

そして、《叫び》は描かれた人物が叫んでいるのではなく、襲いかかってくるような叫び声に驚怖し、耳をふさいでいる姿だと知ります。終生、病気(心の病も)とドロドロした恋愛に悩まされたムンク自身の心の叫びなのか、それとも19世紀末のヨーロッパを覆う不穏な空気を描いたものなのか。これは観る人がそれぞれ決めたいと思います。美術も音楽も結局のところは、それを受け取って感じる個人のものなのですから。

ムンクは生前こそ出身地のノルウェーでは正当な評価を得られませんでした。没後に人気が高まり、今では国民的な画家となっています。この事実が大きな救いに感じられます。

道の駅 石神の丘からのお知らせ

産直 石神の丘 9:00-18:00
TEL 0195-61-1600



岩手町産の春みどりキャベツを使用した焼酎(キャベ耐)。キャベツのみずみずしさが香り立つ、こだわりのクラフト焼酎をどうぞお楽しみください。 500ml / 1,694円

レストラン 石神の丘 10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602

＼まだまだ暑い日が続きます! /
冷たい麺・デザートのご紹介

- 冷やし石神ラーメン ¥850
- 春みどり中華ざる ¥670
- ラベンダー色のクリームソーダ ¥570
- コーヒーゼリー ¥420
- ブルーベリーソフトクリーム ¥380



季節限定 大人気メニュー
冷やし石神ラーメン

Ishibi



Ishigami Museum of Art

石神の丘美術館通信 イシビ
2024. 8 Vol.247



左から 戸村 茂樹《樹木に映る・2022-III》2022年 水彩、紙 56 × 38 cm / 田村 晴樹《雫 210418》2021年 水彩、紙、和紙 54.7 × 36.5 cm

石神の丘美術館(企画ギャラリー)では、8月25日まで「戸村茂樹 田村晴樹 ふたりの水彩と版画」を開催しています。

ともに青森県八戸市出身で、現在は盛岡市を拠点に制作活動を行っている戸村茂樹と田村晴樹。今から50年前の1974年、岩手大学特設美術科に在籍していた彼らは、故郷の八戸彩画堂画廊(青森県)で初めての二人展を開催しました。本展では、ふたりの近作だけでなく、50年前の二人展に出品した版画作品もご紹介しています。

また、会期最終日の8月25日(日)午後2時から、「戸村茂樹 田村晴樹 アーティストトーク」を行います。自作について作家が語る貴重な機会ですので、ぜひお出かけください。

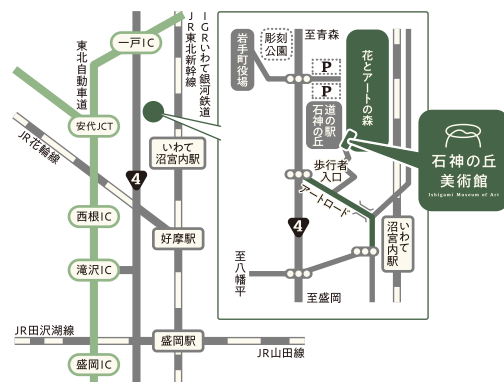


石神の丘
美術館

Ishigami Museum of Art



〒028-4307
岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477
開館時間 9:00~17:00 (最終入場 16:30)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日)
年末年始(12/29~1/3)



戸村 茂樹 田村 晴樹 ふたりの水彩と版画

会 期：2024年6月15日(土)～8月25日(日)
9:00～17:00 (最終入場16:30)

休 館 日：8月5日(月)、19日(月)

観覧料金：一般300円／高校生以下無料

※〈花とアートの森〉共通観覧券は一般700円

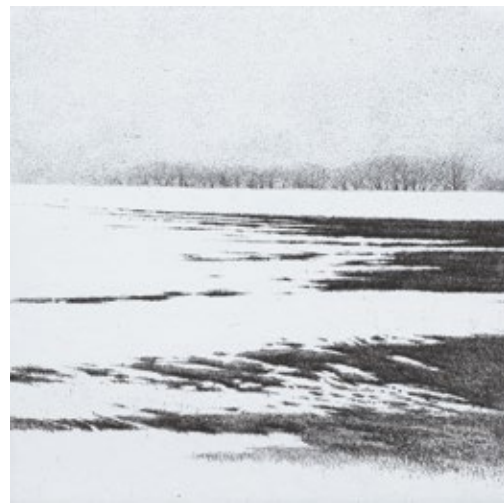
ともに青森県八戸市生まれ、岩手大学特設美術科に学び、岩手県盛岡市在住の美術家、戸村茂樹(1951年生まれ)、田村晴樹(1953年生まれ)の水彩と版画を紹介します。

戸村茂樹は、銅版と水彩を通じ北緯40度の風景や自然をテーマとしてきました。一方、田村晴樹は、水彩と木版で有機的な形や幾何学的なフォルムに向き合ってきました。

近作を展示するだけでなく、会場にはふたりにとって美術家としての出発点だったともいえる、今から50年前に開催された展覧会「現代版画二人展 戸村茂樹 田村晴樹」(1974年／八戸彩画堂画廊)を紹介する一角を設けます。当時の状況を振り返る機会ともなれば幸いです。



田村 晴樹 《丘の家》
2022年 水性木版 16×15 cm



戸村 茂樹 《北緯40度V》
2020年 銅版(エッチング) 14.6×14.6 cm



写真左／
1974年に八戸彩画堂画廊(青森県八戸市)で開催された「現代版画二人展 戸村茂樹 田村晴樹」ポスター
版画技法のひとつシルクスクリーンで制作されており、ふたりのポートレートが刷られている
左から戸村 茂樹、田村 晴樹

写真右／
1974年 八戸彩画堂画廊前にて
左から戸村 茂樹、田村 晴樹

柴田 真樹 版画コレクション2 ルオーに魅せられて 版画に魅せられて

会 期：2024年9月7日(土)～11月4日(月・休) 9:00～17:00 (最終入場16:30)

休 館 日：月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日)

観覧料金：一般300円／高校生以下無料 ※〈花とアートの森〉共通観覧券は一般700円

岩手県岩手郡沼宮内町(現岩手町)出身で、戦後間もない1946年、青森県八戸市三日町に「富士画廊」を開き棟方志功らとの交流を深めた父・正一氏の影響を受け、自身も新聞社に勤めるかたわら美術品収集を行ってきた、柴田真樹氏のコレクションを紹介する展覧会です。

今回は、2022年の第1回展で紹介しきれなかったジョルジュ・ルオーの版画などを展示します。

花とアートの森 Forest of Art and Flowers

真夏の〈花とアートの森〉を楽しもう！

暑さのピークをむかえる8月。野外散策エリア〈花とアートの森〉では、たくさんの草花が真夏の暑さにも負けず咲き誇り、わたしたちの目を楽しませてくれます。

日中の最高気温が30度を超える日も珍しくはありませんので、散策の際は、こまめな水分補給と休憩を忘れずに。美術館では日傘の貸し出しもしていますので、ぜひご利用ください。



ユーバトリウム セレスチナム
(別名 青色フジバカマ)



アスター (別名 エソギク)



セミの抜け殻

リピーターにおすすめ！

〈花とアートの森 年間パスポート〉販売中

一般1,200円／75歳以上の方600円

ご購入日から1年間〈花とアートの森〉を何度でもご利用いただけます

○〈企画ギャラリー〉を観覧される場合は別途料金が必要です

○休館日(毎週月曜日/年末年始/春のメンテナンス休館/臨時休館など)はご利用いただけません

